

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	マルコメ株式会社					
代表者名	氏名	青木時男	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市安茂里883					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	味噌製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	9,256	8,978	8,744	9,129	8,956
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	17,369	16,848	16,396	17,056	16,725
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	23		29	30	29
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	16				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	本社工場 生産サポート本部 生産サポート部 環境課 10:00 ~ 17:00 問い合わせ先 026-226-0255
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

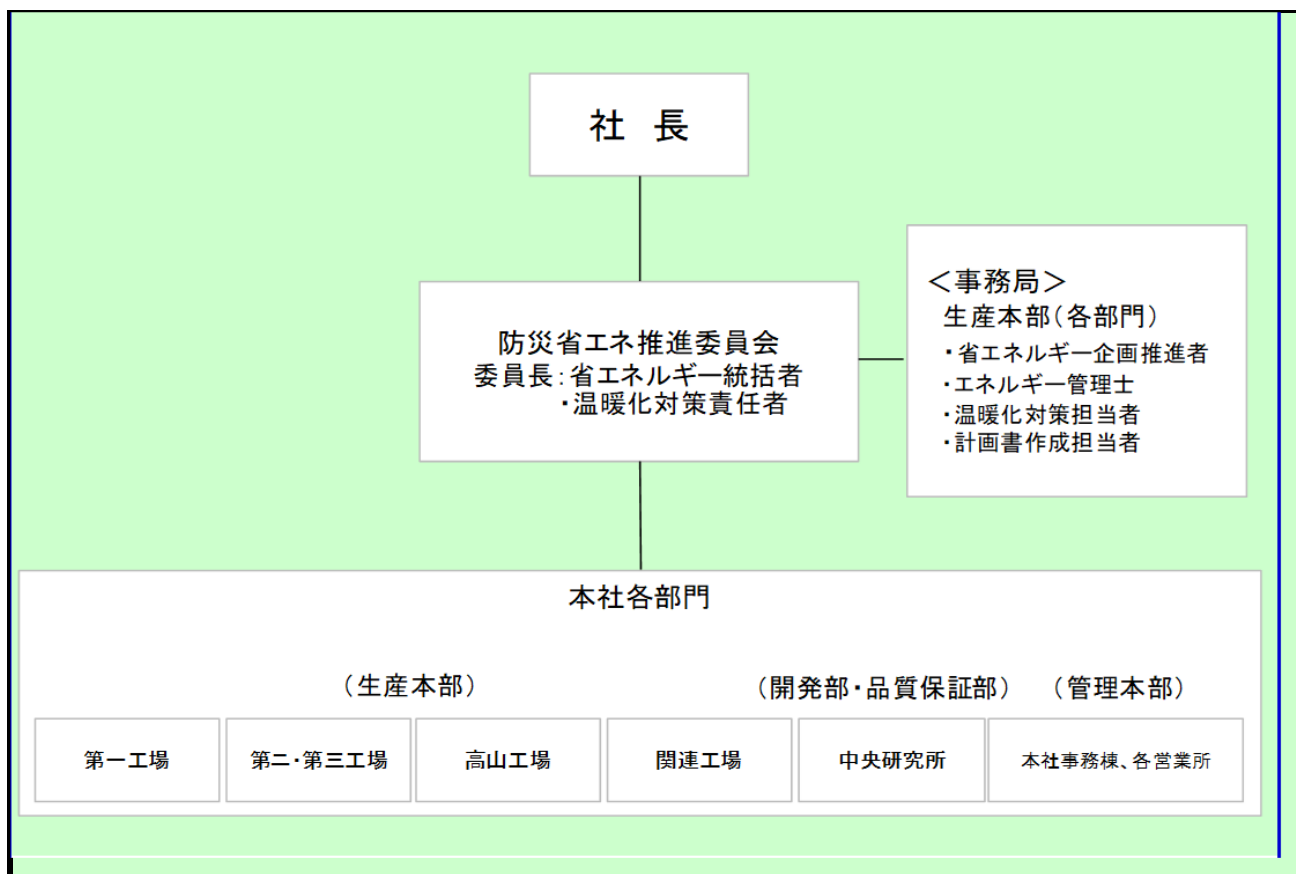
4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

<企業理念>

「日本古来の発酵技術を通じて、生活者のすこやかな暮らしに貢献する」

私どもは企業理念のもと、省資源・省エネルギー・資源循環・地球環境保全に努めてまいります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

防災省エネ推進委員会 会議：月1回開催

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	17,369	t-CO ₂	売上高	469.91	単位	億円
2019年度	調整後排出量	17,369	t-CO ₂	基準原単位	36.96	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量	16,848	t-CO ₂	目標原単位	35.85	t-CO ₂ /	億円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法に準じ、3年間で3%以上の削減目標達成を目指す。 主に空調機や冷凍機など省エネ効果がある設備の導入を積極的に推進し、消費エネルギーの低減に努める。						
第一年度	排出量	16,396	t-CO ₂	売上高	483.55	単位	億円
	削減率	5.60	%	原単位	33.91	t-CO ₂ /	億円
2020年度	調整後排出量	16,396	t-CO ₂	原単位削減率	8.25	%	
	削減率	5.60	%				
排出量等の増減理由	生産終了による生産ライン停止に伴いエネルギー使用量が低下したため。 2019年度に高効率ボイラーを導入、2019年度報告時点では更新が完了しておらず一部旧型のボイラーを使用していた。 2020年度は、年間を通して高効率ボイラーを使用し、削減効果が最大となったため。						
第二年度	排出量	17,056	t-CO ₂	売上高	491.91	単位	億円
	削減率	1.80	%	原単位	34.67	t-CO ₂ /	億円
2021年度	調整後排出量	17,056	t-CO ₂	原単位削減率	6.19	%	
	削減率	1.80	%				
排出量等の増減理由	増産に伴う生産ラインの増設、生産を委託していた製品の内製化に伴う、新規生産ラインの稼働などにより、エネルギー使用量が増加したため。						
第三年度	排出量	16,725	t-CO ₂	売上高	504.20	単位	億円
	削減率	3.70	t-CO ₂	原単位	33.17	t-CO ₂ /	億円
2022年度	調整後排出量	16,725	t-CO ₂	原単位削減率	10.25	%	
	削減率	3.70	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	計画策定で設定した目標を達成することができた。 エリアごとの電気使用量をまとめ、社内でも共有することで従業員の省エネ意識を高めた。 デマンドレスポンスなどに積極的に取り組み、社内全体で省エネ活動に取り組んだ。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	16	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330299	第3工場 地下熟成室空調機更新	2020		2020	105
2	エネ起	330202	D棟 冷凍機更新	2020			
3	エネ起	380752	第3工場円盤エリア照明LED化	2020	0.72	2020～ 2021	4.19
4	エネ起	380752	第3工場充填場照明更新	2020	10.02	2020	9.97
5	エネ起	330299	C棟 チラーユニット更新			2020	19
6	エネ起	320204	バイオガスボイラー更新			2020	22
7	エネ起	330202	西棟冷蔵庫 空調設備更新			2020	6
8	エネ起	330202	厚生棟 空調機更新			2020	3
9	エネ起	380752	第二工場エリア照明LED化			2020～ 2021	7.05
10	エネ起	380752	第一工場エリア照明LED化			2020～ 2021	1.6

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	190	0	190	190	190

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	15,668	1	15,473	2	15,469	2	15,159
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1未満	4	1,701	4	923	5	1,587	5	1,566
合計	5	17,369	5	16,396	7	17,056	7	16,725

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	3	5	5	4
合計	3	5	5	4
自動車総数	23	29	30	29
次世代車導入割合	13	17.2	16.7	13.8

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	3km以内のマイカー通勤を禁止している。(マイカー通勤率 58%) 出張時にはなるべく公共交通機関(鉄道、飛行機)を利用するように呼びかけている。
自転車の利用促進	駐輪場を広げ、自転車通勤の人を増やした。
来客者の交通対策	工場見学時にはマイカーでの来訪をお断りして、バス、徒歩で来訪するようにお願いしている。
物流の合理化	ハブ拠点を設け、効率良く配送する。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

用途限定米穀から出る副産物は、他用途に使用できず、焼却処分としていたが、用途外使用承認申請により飼料へ転用することができ、焼却時に発生していた二酸化炭素 約4t-CO2/年を削減できた。
照明設備のLED化により、工場全体で約3t-CO2/年を削減できた。